

立教大学物理学科・先端科学計測研究センター共催 談話会

ミューオン $g-2$ の最新の話題

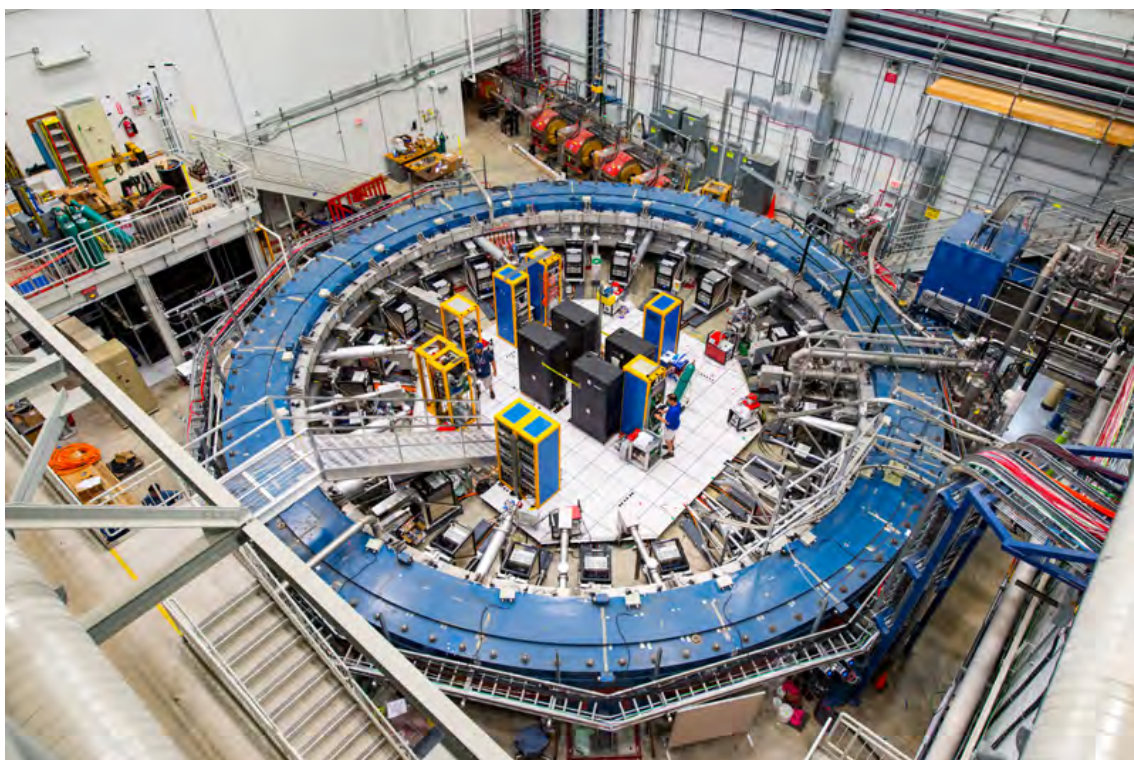
5/14 (金) 5限 対面：M301 教室、オンライン：<http://s.rikkyo.ac.jp/muong2>

17:10-17:30 初田泰之 (立教大理) 「素粒子の標準模型とは」

17:30-18:30 三部勉 (高エネルギー加速器研究機構) 「ミューオン $g-2$ の実験」

世話人 村田次郎 (立教大理)

つい先日、アメリカの実験で素粒子の一つであるミュー粒子の磁性を 100 万分の 1 以下という超高精度で測った所、40 年間近く破られていない「素粒子標準模型」という理論と食い違うという結果が発表されて大きな驚きを呼んでいます。この談話会では、素粒子の標準模型という、現代物理学の一つの到達点について初田先生から学部生にもわかる様に易しく紹介して頂いた後、日本で同じ目的の実験を進めているリーダーである三部先生にアメリカの実験結果が何を意味するかという事と、日本の計画も含めた今後の展望について話して頂きます。



アメリカ フェルミ研究所の実験 © Fermilab

※ 対面・オンラインのミックスになります。講演者は対面会場で講演します。